

（午前9時30分 開議）

○議長（小林 弘君）皆さま、おはようございます。

ただ今の出席議員数は18人で全員であります。

○議長（小林 弘君）これより本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（小林 弘君）これより日程に入り、日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において、3番 土井君、18番 岡君の2人を指名いたします。

日程第2 一般質問

○議長（小林 弘君）日程第2 一般質問を行います。

順番13、14番 樽井君。

〔14番（樽井豪男君）登壇〕

○14番（樽井豪男君）おはようございます。朝早くから大変お待たせいたしました。

議長のお許しを得たので、早速、一般質問をさせていただきます。今回は一つだけです。

市長にお聞きいたします。次期市長選について。

約7年半にわたる平木市政の総括と令和4年度からの市政、次期市長選について、平木市長の所見を伺います。よろしく願いいたします。時間はたっぷりありますので、よろしく願いいたします。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君の質問、次期市長選に対する答弁を求めます。

市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）おはようございます。

樽井議員の質問にお答えします。

次期市長選についてお答えします。

私は平成26年4月から2期、約7年半、市民の皆さまの信託にお応えできるよう、初心を忘れず、現場主義、市民協働、誠実・公平・奉仕を信条とし、スピード感とチャレンジ精神をもって市政運営に努めてきました。

1期目の平成26年度からの4年間は、市税や地方交付税の減少、社会保障に係る扶助費などの増加、市債償還の本格化など、厳しい財政運営を強いられた時期でもあり、財政の健全化に取り組みながら、一方で、喫緊の課題を解決するための六つの施策を推進してまいりました。

一つ目の行財政改革では、市税の債権回収やふるさと納税の拡充、遊休資産の売却、地籍調査の推進など、自主財源の確保に努めるとともに、施策のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、歳出の縮減を行うなど、財政の健全化に取り組みました。

二つ目の、地域経済の活性化と地場産業の振興、雇用を拡大する、及び三つ目の、農林業の振興と後継者を育成する施策としては、官民一体のはしもとブランド推進室を設置し、地域資源や市内企業の技術力を生かしたはしもとブランドの構築のため、新商品開発や販路開拓の支援、時にはトップセールスを行い、橋本を全国海外に売り出しました。

また、シティセールスにも力を入れ、定住促進係を設置し、市外での移住フェアや相談会の実施により、移住定住の促進を行うとともに、観光面では、情報発信の強化やイベン

ト等による交流人口の拡大を図り、橋本市への人の流れをつくる取組を行いました。

企業誘致では、紀ノ光台用地を中心として28社が操業を開始し、地元雇用を生み出しました。また、農業の担い手の育成や就農環境の向上に取り組むための就農支援係を設置するとともに、耕作放棄地の利用のためのマッチングや、農産物をふるさと納税の返礼品にすることなど、農業所得の向上に努めました。

四つ目の、安心して暮らせる医療と福祉の充実では、橋本こども園、応其こども園の整備、中学生までの医療費助成、産前・産後から18歳までのきめ細やかな支援を行う子育て世代包括支援センターの設置、橋本こども食堂への支援、女性相談員の育成や女性電話相談の実施、市民病院の医師の確保に努めるなど、市民の皆さまの安全・安心な暮らしにつながるまちづくりに取り組みました。

五つ目の、確かな学力と生きる力を持った心豊かな子どもの育成では、教育相談センターの相談体制の充実、学校、地区公民館等での土曜講座の実施、学校の学びを地域に広げる共育コミュニティづくりや、小・中学校の図書スタッフの増員に努めるなど、学力の向上と子どもの居場所づくりに取り組んできました。また、生涯学習の拠点となる公民館においては、住民が主体となる地域づくりを進めるとともに、山田地区公民館を新築しました。

六つ目の、都市基盤整備を進める災害に強い安全・安心のまちづくりでは、国道371号橋本バイパス区間については、多くの市民、議員各位のご尽力の下、平成27年9月に開通しました。残る大阪府側区間についても、全面開通に向け、引き続きご協力をお願いします。

また、防災面では、地域防災計画の見直しや自主防災組織による防災訓練の実施など、地域の防災活動を支援するとともに、消防本

部庁舎内へ橋本・伊都地域消防指令センターを設置するなど、安全・安心な暮らしのための取組を行いました。

そして、第2期目の初年度となる平成30年は、今後10年間のまちづくりの道しるべとなる第2次長期総合計画がスタートする年でもありました。市民の皆さまと行政が同じ方向を向き、共にまちづくりを進めることを目標とし、「人輝き あたたかさ湧きでる みんなで創造する元気なまち 橋本」の実現に向け、住んでよかった、住みたくなるまちづくりに注力するため、1期目に引き続いて、六つの重点政策に取り組みました。

一つ目の「将来に向けた持続可能なまちを創る」として、ふるさと納税のさらなる拡充や市税の収納率の向上、債権回収による歳入の確保、公共施設等総合管理計画による統廃合などの財政健全化に取り組みつつ、それぞれの地域に暮らす市民一人ひとりが共につながり、共に支え合いながら、市民協働のまちづくりを実現するための礎を築きました。

中でも、ふるさと納税では地域産品など返礼品の充実や積極的なPRにより年々金額が増え、令和元年度には寄附金額が2億円を超えるまでに至りました。また、財政健全化については、税外債権の回収強化、公共施設などの使用料の見直し、未利用地の処分や貸付けなどに取り組むとともに、人件費の抑制、普通建設事業の削減、事業の見直しや縮小による物件費の削減を行い、平成28年度から令和2年度までの財政健全化効果として約48億円の成果が出ています。

そして、市民と行政の協働による元気なまちづくりを推進するため、橋本市の自治と協働をはぐくむ条例を制定し、まちづくりフォーラムの開催や出前講座を実施し、市民の皆さまに参画いただきながら、情報共有を図りました。また、本条例の検証や見直しを行う

はぐくむ委員会を設置し、市民協働の推進体制を整えました。

二つ目の「にぎわいと活力あるまちを創る」として、地場産品の販路開拓や新商品開発への支援、農産物の産地化・ブランド化、企業誘致、移住定住促進、観光振興事業に取り組みました。企業誘致は、これまでに47社と協定を締結し、41社が操業し、773人の地元雇用の確保と税収増に大きな役割を果たしています。また、令和元年度から、あやの台北部用地の工業団地の造成工事に着手し、令和2年度には用地の募集を開始し、既に2区画の申込みを頂いているところです。

農業のブランド化については、高野山麓精進野菜の産地化事業に取り組み、生産量も増えてきているところです。移住定住の成果では、移住相談や住宅取得補助制度、空き家活用支援策等により、令和2年度末で約720人の方が橋本市に移住されています。

三つ目の「教育との連携により子育てにやさしいまちを創る」として、令和2年度に岸上保育園、柏原保育園、山田保育園を統合した公私連携方式による山田さつきこども園の開園、児童発達支援施設であるたんぼぼ園の新築移転、公立保育園でのゼロ歳児保育の実施により、乳幼児の受入れ環境の充実を図りました。また、こども食堂実施団体への支援を行い、現在では市内の5か所で運営され、子どもの居場所づくりや学習支援に取り組んでいます。令和3年度には、健全な子育てや親育ちの支援に力を注ぐため、健康福祉部内に家庭教育支援室を設置しました。

四つ目の「地域全体で支えるまちを創る」では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けていけるよう、地域包括ケアシステムの構築に取り組み、生活支援コーディネーターを配置し、市内9か所に第2層協議体が設置されました。また、介護度の高い高齢者や障がい

者世帯へのごみの戸別収集や、子育て世帯も対象となる紙おむつの戸別収集など、福祉事業収集の充実に取り組みました。

一方で、蛍光灯や電池類の拠点回収や、市民の皆さまにご協力いただいている可燃ごみ収集の週1回化など、循環型社会の実現に向けたごみの減量とごみ収集の効率化に向けての取組を進めました。

五つ目の「安心安全な暮らしを支えるまちを創る」では、都市基盤である道路、橋梁、下水道等の公共インフラの長寿命化のため、計画的に更新や修繕を行ってきました。また、杉村公園周辺に杉村やすらぎ広場を整備し、今年11月には遊具広場の供用開始を予定しています。

防災面では、土砂災害警戒区域等の指定に伴うハザードマップの更新や、台風や集中豪雨等による水害を抑制するための排水ポンプ車の配備、防災重点農業ため池のハザードマップ作成を行っています。

六つ目の「人が学びあい共に育むまちを創る」では、第2期橋本市教育大綱の理念、「人が学びあい、共に育むまちづくりー自治と協働のまち橋本市に向けてー」の実現に向けた取組を進めています。

学校教育の充実として、GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末の購入や学校でのネットワーク環境整備を行うとともに、効果的な利活用の推進のため、ICT支援員を各校に配置しました。学校施設については、小・中学校の普通教室等への空調設備の整備、長寿命化改修工事や外壁改修、トイレ改修を計画的に実施しています。

これらの政策のほか、令和元年度末の国内での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、橋本市において感染拡大防止や暮らしや地域経済を支えるための対策事業を実施しました。感染拡大防止については、保育所、学校など

各施設のマスクや消毒液などの購入や事業者への感染症対策経費の支援を行いました。また、暮らしや地域経済を支えるための事業として、生活応援クーポン券の配布、ひとり親世帯臨時給付金事業、子育て世帯生活支援特別給付金事業、新生児子育て応援給付金事業等を実施しました。

この7年半、市議会議員の皆さまにおかれては、一般質問等を通じ、政策提言やご意見を頂いたこと、また、条例制定や予算執行においてご理解、ご協力いただきましたこと、併せてお礼を申し上げます。

次に、令和4年度からの市政運営についてお答えします。

まず、引き続き、六つの政策を推進、見直しを行い、行政課題解決に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策、経済対策については、国との連携を強化し、感染者の減少、あるいは経済の再生について全力で取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症によって生じた新しい生活様式への転換、ポストコロナ時代の社会の変化に対応していく必要があります。そのため、未来に向けた挑戦と変革として、橋本市の持続可能な開発と魅力あるまちづくりを、市民協働の下、引き続き、元気なまち橋本の実現に向け、施策を推進していきたいと考えています。

具体的には、第2次長期総合計画後期基本計画等にSDGsを反映し、各施策に展開することで、持続可能なまちづくりに取り組むとともに、デジタルトランスフォーメーションを推進することで、行政手続きの電子化などによる暮らしの利便性の向上や行政事務の効率化を進めます。

次に、産業振興については、2025年大阪・関西万博を契機とした特産品、観光資源など、

橋本市を全国世界にPRし、人の流れの創出に取り組むとともに、製品のはしもとブランド化のため、企業や農業者を引き続き支援し、地域の稼ぐ力の促進を図ります。また、あやの台北地域への企業誘致活動に取り組み、引き続き地域雇用を促進します。

次に、子育て支援においては、医療費助成や多子世帯への保育料無償化など、経済的な負担の軽減にも引き続き努めていきます。また、これまでの公設民営や公私連携方式のこども園整備等の経験を生かし、公設公営となる紀見こども園の整備を行い、市内の乳幼児の教育・保育サービスの充実に努めます。

次に、安全・安心な暮らしに向けては、道路橋梁の長寿命化やため池改修等の防災対策を引き続き実施し、さらには、地域防災計画の見直しや自主防災会との連携強化など、実効性のある防災・減災対策に努めます。また、通学路の合同点検と安全対策の推進、コミュニティバスの路線等の見直しを行いたいと考えています。

最後に、学びを育む分野においては、生涯学習施設である紀見地区公民館、郷土資料館、あさもよし歴史館の複合施設を整備し、地域の公民館活動の充実と文化財や歴史資料の活用を図りたいと考えています。

このほかにも、老朽化した公共施設の計画的な整備と統廃合の推進、令和11年に予定している環境管理センターの建て替え、広域ごみ処理場の延長問題など、取り組むべき課題はたくさんあり、事業実施に際しては財源確保が必要です。

本市の財政はいまだ厳しい状況が続いていますが、市民の皆さまや議員、職員の皆さまのご協力のおかげで、就任時に比べて大きく改善されました。これからは未来への投資に対して、多くの財源が必要となってきます。まずは歳入の減少と社会保障費の増加に対す

る財源の確保です。少子高齢化が進む本市にとって乗り越えなければならない課題とも言えます。今後とも、国の補助金や補正予算等、情報収集に努めるとともに、国や県、国会議員との連携を深め、財源確保に努めてまいります。

市民の皆さまと行政の協働をさらに進め、住み慣れた地域で、子どもから高齢者まで共に支え合いながら、安全で安心な生活が送れる地域共生社会の実現に向け、これからの橋本市を共に育てていきたいと思っております。

次期市長選挙については260を超える団体から出馬要請を頂いているところであり、この2期で皆さまとともに作り、守り育ててきた市政を引き続き行い、元気なまち橋本を実現する責務を全うするため、来年3月の市長選挙への出馬を決意したところです。

平成26年度から現在まで7年半、改めて市民の皆さんや議員各位の力強いご支援を頂いたことについてお礼を申し上げ、答弁とさせていただきます。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君、再質問ありますか。

14番 樽井君。

○14番（樽井豪男君）再質問ではございませんが、大変、時間たっぷり残っておるんですけども、大変詳しく説明をしていただき、ありがとうございます。

また、来年3月の橋本市長選に出馬を表明されました。今回の中で、未来に向けた挑戦と変革として、橋本市の持続可能な開発と魅力あふれるまちづくりを、市民協働の下、引き続き、元気なまち橋本の実現に向け、施策を推進していきたいということでもあります。

また、具体的な政策も示されました。前回の2期目は無投票でありましたが、次期市長選はどうなるか、私も分かりません。今まで以上に市民の皆さんのご意見にまた耳を傾け

ていただいて、また、市職員との対話を深めて、元気なまち橋本のためご尽力を願いたいと思います。

これで私の一般質問を終わります。

○議長（小林 弘君）14番 樽井君の一般質問は終わりました。

この際、10時5分まで休憩いたします。

（午前9時53分 休憩）